



# うえき



平成25年

# 5

月号

第36号

発行：植木町合併特例区協議会 熊本市北区植木町岩野 238-1 ☎ 272-1111

ホームページ：<http://www.uekimachitokureiku.hinokuni-net.jp/>



町内の小中学校で入学式が行われました。本年度は、小学校255名、中学校275名の新入生が誕生しました。写真は、吉松小学校で、26名の新入生が元気いっぱい入場し、大きな拍手で迎えられました。



## 第四回 合併特例区協議会

4月5日報告3件がありました。主なものは植木町合併特例区事業の特例区終了に伴う対応について

- ① 地域魅力アップ推進事業
  - ② はってん祭
  - ③ 田原坂ウォークラリー
  - ④ 植木町文化ホール自主文化事業
  - ⑤ 植木町文化ホール管理運営事業
  - ⑥ 田原坂健康マラソン
- の6事業の検討を行いました。

その中で、特に意見が多く出されたのははってん祭についてでした。はってん祭は、歴史も長く、最も町民に親しまれているイベントで町民の関心が高い事業といえます。実行委員会や代表者会議、企画運営委員会等としても見直し案の策定を検討されていますが、実施主体の決定が大きな関門になっています。実施主体、それに事業資金は多くの事業に共通する問題です。はってん祭の存続に関しては、各関係団体が協議できる場の設定はできないか等意見も出されました。協議会でも、今年度中に検討し、結論を出していく予定です。



▲協議会開催風景

# 部会活動報告

## 福祉教育部会

### リニューアルしました「風の湯」

3月7日、新しく指定管理者として植木温泉福祉交流館の管理運営を担当する「ゆうしんグループ企業」の代表の方々と運営方針などについて意見交換を行いました。公的施設としての認識の下、植木温泉の特性を活かし、地域に愛される健康福祉の活動拠点を目指すということです。

- 具体的には、
- (1) 夜間の営業や宴会などは近隣の旅館に任せ、日中の営業に専念する。
  - (2) 弁当や仕出しも地元業者に委託するなど連携と共生を目指す
- 特色ある企画事業を年間通して展開する
- ① 地域の集い(交流会)
  - ② 介護養成講座
  - ③ 健康教室
  - ④ シニア支援教室
- など多数の企画や集客の方法などの説明を受け、確認いたしました。部会では、交流館が北区の名所の一つに発展しますよう、要望いたしました。



▲リニューアルオープンした「風の湯」

## コミュニティ部会

### ハザードマップ作成へ

部会は3月21日に開催し、市が進めている地域版ハザードマップの作成について事務局から説明を受けました。

これは、過去に起こった災害情報をはじめ、地域で想定される危険箇所や避難場所までの経路と注意することなどを住民が主体となってくる地図です。具体的には、町内自治会や自主防災クラブの役員がリーダーとなり、老人会、消防団員などの協力によりグループを作り、これまでの災害の情報と災害時に危険となる場所や障害物の情報などを話し合います。また、実際に地域を歩いて危険箇所や避難経路の確認を行い、その情報を地図に落とししていきます。そして出来上がったものが地域版ハザードマップです。

北区では、平成25年度に45地区が計画されていて、5年間で全自治会分を作成する計画です。



## 地域振興部会

### まちづくりから

### アイデアと共通理解を

部会は3月22日に植木町商工会の代表と意見交換会をもちました。主な議題は(1)植木農産物の駅(仮称)について(2)区画整理事業について(3)まちづくりについての3つでした。

前者2つについては、担当課から、現状と今後の工程表などの説明を受けて、出席者からたくさん質問や意見が出され、難しい課題の共有ができ、また、担当課の苦労がつかええました。

後者のまちづくりでは、2年後の合併特別区終了後のはってん祭の在り方、観光ルートなど、植木町の発展のためにはどのようにしたらよいかという視点から、いろいろな意見が出されました。

今まで、商工会とはこのような意見交換の場が少なく、共通理解ができていく状況でしたが、今回の機会はその意味で有意義な試みであったと思います。部会として、まちづくりに協力できるよう諸課題の現状認識を深めていかなければと思っています。



▲昨年のはってん祭の様子

## 【校区自治協トークpart6(吉松校区)】

校区の代表の皆様の声を聞きたいと幸山市長が直接各校区に出向いて話し合いをする「校区自治協トーク」が開催されています。今回は、11月13日吉松校区での意見交換の内容をお知らせします。

**Q)** 人口70万余の政令市の一部に植木町も組み込まれたが、植木町は元来農村部として成り立ってきている。都市部の発展に向けての政策だけでなく、農村部の維持、活性化に注目し、具体的政策を工夫してほしい。

**A)** 熊本市は年間460億円ほどの農業の産出額がある。政令市の中で見ると、新潟、浜松について3番目、全国で見ても7番目か8番目に位置する。農業都市と言っても過言ではない。

現在、農業を取り巻く環境が大変厳しい中、区独自で様々な支援ができる補助メニューを作成している。6次産業化についても、しっかり取り組んで、農業の活性化に繋げてまいりたい。

**Q)** 合志川に魚はたくさんいるが、鯉を食べる人はいない。川が汚染されているとの認識があるからである。浄化への対策をお聞きしたい。

排水や汚染水が合志川に流れている。地下水も汚染されているのではと心配である。川沿いの集落に早く上水道の整備が必要だと感じる。

**A)** 上水道整備については、計画に基づいて進めており、平成25年度から整備を進め、平成28年度までの完了を目指している。

合志川の水質については、国土交通省が芦原で定期的に測定されており、合併後、宝田橋と舟島小橋でも市が調査している。芦原の測定によると、平成6年ごろに一番汚染状況が悪かったが、今は基準値前後で推移している。

熊本市は、菊地川水系の河川流域の市町村で構成する「菊地川流域同盟」に加盟しており、今後も河川調査、生活排水の改善等の普及啓発、水援隊の活動支援、同盟の森維持管理など、合志川を含む菊地川水系の水質保全活動に取り組んでまいりたい。

他9件については、市ホームページに掲載中です。

**Q)** 植木町内には小学校8校、中学校3校あるが、少子化により児童数、生徒数が減少している。校区統合のシンボルはそれぞれの小学校である。

合理化、経費削減の方針や規模適正化の思考からすると、近い将来合併を図るつもりなのか伺いたい。

**A)** 旧市内では、すでに複式学級のところが数校あるが、抜本的な手が打てずにここまで来た。現在、小規模校についてどうするのか、教育委員会の検討委員会で議論しているところである。

子どもたちが学校において勉強だけでなく社会性など様々なことを学ぶに当たり、あまりにも少人数では難しい場合がある。人口増加が見込めない中、このまま放置しておいて良いものか、しっかり検討しなければならない時が来ている。

決して合理化や経費削減が目的ではなく、一定規模以下を全部統廃合するといった乱暴な進め方は考えていない。確かに小学校は地域のシンボリックな存在であるが、子どもたちの教育環境の問題もある。その両立ができないか、検討委員会で知恵を出し合っていたいただいているところである。

**Q)** 老人会組織をどのようにお考えか。単老として市より助成金をもらうには13枚の書類を提出しなければならない。市老連へは単老より年6,500円納めなければならない。校区老人会長の受け手がない校区も出てきた。高齢化社会を迎えて老人組織は重要度を増しており、助成の手を出すべきなのに、年貢の取り立てをしているのではないか。

**A)** 申請書については、出来るだけ、書き方のお手伝いなどで、ご負担とならないように努力したい。

会費については、老人クラブ連合会の組織の問題なので、行政からはなかなか言い辛いところだが、このことによって、脱退したり、会員の減少につながっているとすれば、連合会としても問題であろうと思う。ご意見を連合会へお伝えしたい。

### 第16回民謡「田原坂」全国大会

【日 時】5月19日(日) 午前9時開会

【場 所】熊本市植木文化センター文化ホール  
(旧植木町生涯学習センター文化ホール)

【内 容】

大会では、県内外の民謡愛好者を中心に子どもから高齢者の方々が、6つの部門に分かれて曲目「田原坂」で美声を競います。また、「くまモン」の来場や文化ホールホワイエでの物品販売などもありますので、お気軽にご来場ください。

※ 詳しくは、実行委員会事務局(北区役所区民課 ☎272-6900)へ



### 5月の各種相談

各種相談	相談日	時間	場所
植木ふれあい相談所	毎週木曜日	10:00 ~ 12:00	熊本市社会福祉協議会北区事務所
年金相談 * 予約制 272-6905	第4木曜日	10:00 ~ 15:00	北区役所 2階 会議室
行政相談	5月9日(木)	13:30 ~ 15:30	北区役所 1階 相談室 104
	5月23日(木)	9:30 ~ 15:00	北区役所 1階 相談室 104
人権相談	第1・第3木曜日	9:00 ~ 12:00	北区役所 1階 相談室 104

## まちのわだい



▲3月20日 西南の役田原坂戦没者追悼式(田原坂公園にて)  
中央の写真は、謝辞を述べられる山縣有朋公から数えて五代目の山縣有徳氏



▲植木ライオンズクラブ 1100回例会記念植樹  
(田原坂公園にソメイヨシノ植樹)



▲3月21日 小学校卒業式 菱形小学校ではこれからも地域の絆を深めて欲しいと卒業生に「カタルパ」の苗をプレゼントしました。



▲3月25日～4月4日 「植木町世界の夜明け調査団」  
内古閑龍一団長はじめ10名の中学生がニュージーランドを訪問しました。



▲4月7日 ジュニアコーラスAnimato  
創立15周年記念 第6回演奏会

## まちのお知らせ

### 【西南戦争遺跡「田原坂」国指定史跡として指定されました！】

国史跡とするよう国の文化審議会から答申されていた「西南戦争遺跡」が、3月27日に文部科学省より史跡として正式決定されました。明治以降の戦跡に関する本格的な史跡指定としては初めてとなり、玉名郡玉東町との広域連携による遺跡保存活用のモデルケースとしても高く評価されています。また、地域の人々との関わりも含め、西南戦争の歴史を学ぶ場として、今後更に価値が高まっていくものと思われます！

## まちの行事予定

- 5月 3日(金)、4日(土):第6回「すいか祭りin田原坂」  
(田原坂公園にて、両日午前10時～午後4時)
- 5月15日(水):学校開放日(お出かけ下さい)
- ※予定は変更になることがあります。
- 固定資産税・都市計画税 第1期納期は、5月末までです！

**編集後記** 新緑を迎え、暖かい日差しの差す気候となつてまいりました。しかし、東北では、豪雪突風と春の足音も遠く、震災の復興も2年の歳月でも未だ進んでいないようです。熊本は気候に恵まれ、住みよい都であると思えます。熊本市も政令市2年目を迎え、植木町と約束された事業計画も着々と進んでいます。田原坂資料館・農産物の駅(仮称)・道路整備・上下水道・体力健康づくり拠点施設(仮称)、今後5年、10年後の子ども達の為に発展していくことを期待しています。

泉田 義和